THE FURANO KOTOBUKI TIME

No.21　R01.11.13　Furano city kotobuki college office
Tel:0167-39-2318

山部校･富良野校合同
主張・研究・実践発表交流会

初雪があり、晩秋から初冬へと富良野にも白い季節がやってきました。これからの時期、小春日和ありの気温の低い日もありと変化も大きいのかと思います。健康管理には、十分留意したいものですね。インフルエンザにも注意ですね。

本日は、小中学校では「学芸会・学校祭」でもあります、合同主張・研究・実践発表交流会です。

文化会館１階ホールでは、11 月６日から大作品展を開催しています。展示作業は、時間を見つけながら皆さんで行いました。学習日以外の日でも、各自作品を持参して展示する方もたくさんいらして……そんな前向きな姿に私は感動しています。夕方、暗くなってから佐竹さんが山部校の皆さんの作品展示する姿も見られました。皆さん、お疲れ様です。

（本日の発表）を簡単にご紹介します。

プロ１…富良野校本科４年　平澤さんの主張発表　**「ことぶき大学４年間での考察」**
このことぶき大学で学んだ４年間を振り返り、「学ぶことの意義」「生きる意味」について考察します。

プロ２……富良野校本科２年**「研ブリッジ　Ⅱ」**
市内の橋から市街地へと広がりました。橋の名前を書いた板【橋名板】を橋に取り付ける場合には決まりがあるということですよ。

プロ３……富良野校本科１年「富良野市の神社について」初めての研究発表です。
おなじみ富良野神社には、一体どんな神様を祀っているのでしょうか。

プロ４……富良野校本科４年「富良野 50 年の歩み」
富良野といえば、ワイン、へそ祭り…それから市民として必見ですね。

プロ５……山部校男性班「山部小中学校の歴史」
山部中学校が閉校となります。
山小・第一小・第二小・山中、それぞれの母校への思いを伝えます。

プロ６……富良野校本科３年
「縄文文化と富良野の歴史」
縄文時代と現代の生活を比較しつつ生活の見直しに迫っています。

プロ７……富良野校大学院２年・１年
「新・富良野風景～ことぶき編～」
何気ない富良野の風景は、私たちの心の故郷です。この街、富良野を愛しています。

Today's schedule

11 月 13 日(水曜日)

8 時 45 分	当番　第２研究生
9 時 20 分	朝の集い
9 時 45 分	開会式
10 時 00 分	主張・研究発表交流会
12 時 00 分	昼食・休憩
13 時 00 分	研究発表会
13 時 45 分	学長より講評
13 時 55 分	実践発表
14 時 35 分	閉会式
15 時 00 分	後片付け・展示作品撤去終了

午後プロ１…山部校山部クラブ

エコの時代です。ちょっとした工夫とアイデアで服装も変わります。山部クラブの「ファッションショー」でオシャレを楽しみましょう。オシャレは生き方を活性化させるものですね。それが、エコに繋がるのならさらにいいですね。

〃プロ２…富良野校研究生

「学年別研究の７年間の足跡」研究生ならではの、こだわりの研究。このこだわりは、必見です。誠実に学ぶ、真摯に生きる、ことぶき大学生の鏡ですね。

〃プロ３…富良野校第２研究生

「演劇とわたしたち」、大きなカブ～認知症と老人、そして今年は、「カムバック」この題名の意味合いと重み、そして演劇に生きる“源五郎さん”は、第２研究生の皆さんの「光と希望」なのです。

実践発表プロ１…山部校「吟舞」山部校卒業生の松浦哲夫さんは、現在「切絵クラブ」の講師です。古典を愛する心は、より豊かな人生を創り上げていくのですね。

〃　プロ２…富良野校・山部校合同「スコップ三味線」８年目を迎えました。そろそろ新曲の話しもあります。自信に満ちた演奏とバチさばきは必見です。

〃　プロ３…山部校「北海盆踊り」トリを飾るのは、山部校の皆さんによる踊りです。北海盆踊りですが、何かがありそうですね。元気一杯、100 パーセント勇気もう頑張るしかないですね。

NEXT　SCHEDULE

11 月 27 日（水曜日）

◎学生自治会からの配布資料があります。

①お楽しみ忘年会　お弁当・出し物連絡

②新年度の役員の選出

8 時 30 分　当番　本科 1 年生

大会議室・資料配布

8 時 50 分　大ホール集合

「いじめ防止標語」の表彰

9 時 00 分　第 13 回富良野市

「子ども未来づくりフォーラム」

11 時 30 分　終了予定

11 時 50 分　昼食・休憩

12 時 50 分　大会議室　講座準備

13 時 00 分　**「震災の社会学」**

旭川大学准教授　　大野　剛志先生

15 時 00 分　終了

【震災の社会学…大野先生からのメッセージ】

東日本大震災下の被災地の現状を知るために、２０１１年からこれまで７年間、毎年、岩手県陸前高田市、釜石市、山田町を中心に現地調査を実施してきました。避難所生活から仮設住宅での生活へ、そして災害復興住宅へと暮らし方は変化してきていますが、引きこもりや孤立、生活格差など、新たな問題が生まれています。さらに、昨年の北海道胆振東部地震で被災した厚真町は、調査で長年お世話になった私のフィールドワークの地です。被災された住民の方々に元気になってもらいたいと願い、私は今、厚真町の復興のために、学生と共にまちおこしのボランティアを行っています。本講義では、現地での活動を通じ知り得たことを報告しながら、「真の復興」について、みなさんと共に考えます。

12 月 4 日（水）午前：クラブ　⑨

午後：富良野緑峰高校の実践発表交流会視聴

緑峰高校へは、全員バスでの往復移動となります。山部校、山部クラブの皆さんは生涯学習センターで昼食を済ませたのちバスにて文化会館経由で緑峰高校へ行きたいと考えいます。

山部クラブ以外の皆さんと富良野校の皆さんは、大会議室で昼食をとり、山部クラブの皆さんのバスと他１台のバスで緑峰高校へ行きます。詳細については、次回に連絡します。